

当院で僧帽弁閉鎖不全症で入院し手術を受けられた患者さん・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

対象となる方

2013年1月～2024年12月の間に、僧帽弁閉鎖不全症で入院し、手術を受けた方

研究課題名 僧帽弁手術後の長期予後に関する観察研究

研究責任者 国立循環器病研究センター 心不全科部長 泉知里

研究の目的 僧帽弁閉鎖不全症の治療効果を調査するため

利用する診療情報

年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍数、診断名、心不全重症度、基礎心疾患名、併存疾患情報、嗜好歴情報、既往歴情報、薬剤治療情報、心電図所見、胸部レントゲン所見、手術リスクスコア、デバイス情報、血液検査（血算、肝機能、腎機能、電解質検査、尿酸、カルシウム、CRP、BNP、トロポニン、凝固検査）、心エコー図（術前術後・経胸壁・経食道）、カテーテル検査、手術情報、予後情報

研究期間 研究許可日より2028年12月31日まで（予定）

個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

問合せ先

国立循環器病研究センター 心不全科

担当医師 天野 雅史

電話番号 06-6170-1070 代表